MENU SEARCH INDEX DETAIL JAPANESE LEGAL STATUS

1/1

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2002-258831

(43)Date of publication of application: 11.09.2002

(51)Int.Cl.

GO9G 5/36 GO6T 3/60

G09G 5/00 G09G 5/391

G09G 5/34

HO4N 1/387

(21)Application number: 2001-055254

(71)Applicant: BROTHER IND LTD

(22)Date of filing:

28.02.2001

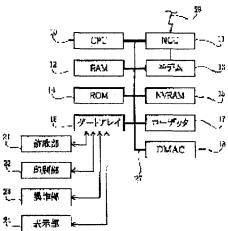
(72)Inventor: SEKI TAKAO

## (54) IMAGE PROCESSOR AND COMPUTER PROGRAM

#### (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide facsimile equipment, which when displaying image data by making them rotated, or enlarged or reduced on the screen can rotate, or enlarge or reduce the image data even around the display part of current interest, while excluding unwanted parts, where image data are not present as much as possible.

SOLUTION: A CPU 10, when rotating the image data displayed on the screen, rotates a display scanning area on the screen relatively to an expansion area of the image data about the center of the display scanning area, even though the image data expanded in a RAM 12 are left as they are. When the rotated display scanning area deviates from the expansion area of the image data, the CPU 10 makes display scanning area displaced into the expansion area of the image data.



Japanese patent application No.: 2003-333890 Reference No.: DNP03061

# Translation of the reference (relevant paragraph)

· Cited Reference 1: JP 2002·258831 A

## Paragraph [0031]:

It explains referring mainly FIG. 1. The facsimile apparatus is comprised CPU 10, NCU 11, RAM 12, modem 13, ROM 14, NVRAM(Non-Volatile RAM) 15, gate array 16, codec 17, DMAC 18, scan section 21, print section 22, operation section 23, and display section 24. CPU 10, NCU 11, RAM 12, modem 13, ROM 14, NVRAM 15, gate array 16, codec 17, and DMAC 18 are mutually connected by bus line 27. Gate array 16 is connected to scan section 21, print section 22, operation section 23, and display section 24, NCU 11 is connected to telephone line 28.

# Paragraph [0032]:

CPU 10 controls entire the facsimile apparatus. NCU 11 is connected to public telephone line 28 controls the network. RAM 12 provides the work area of CPU 10, the buffer area of various data, etc. FIG. 3 is an illustration explaining an address space of RAM 12. As shown in FIG. 3, the address space of RAM 12 is divided the FAX receiving buffer to store received facsimile data as image data, FAX image buffer for displaying to store data which are thinned out received data for main scanning direction by half, text VRAM(Video RAM) to develop text data to display on the screen, FAX preview VRAM to develop image data to display on the screen which are stored at FAX image buffer, sprite buffer to store diagram patterns which are independent of graphic display on the entire screen. Especially, FAX preview VRAM is used for the video memory. In the following explanation, VRAM means FAX preview VRAM. Modem 13 performs modulation and demodulation of voice signal, etc. ROM 14 memorizes programs which CPU 10 executes, etc. NVRAM 15 memorizes various information and data. Gate array 16 is a function as the interface between CPU 10 and each section 21.24. Codec 17 performs encryption and decryption of voice signal and data, etc. DMAC 18 directly sends and receives data to RAM 12 without CPU 10.

#### Paragraph [0033]:

Scan section 21 comprises image sensor and LED light source. Scan section 21 scans images of letters, shapes, etc. from the manuscript, etc. Print section 22 prints images of letters, shapes, etc. on papers, for example by ink-jet method. As shown in FIG. 2, operation section 23 comprises a numeric keypad, various buttons, etc. and transmits

Japanese patent application No.: 2003:333890 Reference No.: DNP03061

input signals to CPU in response to user actions. As mentioned before, display section 24 comprises LCD display which has, for example 320 \* 240 dots and displays image data and text data, etc. In the following, FAX image buffer is supplemented. For example, when the manuscript size is B4, received data size is 2048 \* 1363 (as standard resolution). Therefore when scanned or received facsimile data are directly displayed as image data on display section (width 320 \* height 240), only a part of the data are displayed. Further, when LCD display is used as display section 24, pixel size is fixed. But when a facsimile has standard resolution, fine, super fine (original mode), etc. and main scanning direction is always 8 lines/mm, sub scanning direction (height direction) is 3.85 lines/mm, 7.7 lines/mm, or 15.4 lines/mm, the image are shrunk or extended by displaying received data directly. So width size thins out in half and height direction adjusts width resolution and aspect ratio of display section 24 is 1:1, height direction is always converted to standard resolution for any resolution and the converted data is stored in FAX image buffer.

# Paragraph [0044]:

Therefore as shown in FIG. 10, CPU 10 displaces display scanning area to in developed area of image data (in figure, displaces the coordinate of "x" to (X4, Y4)), begins to scan the start point of display scanning area, and forwards image data on display. Thereby even though image data appears to shrink in half, display unnecessary part in which image data do not exist are not displayed. And when the image data are enlarged, the scanning area is controlled in the same step.

(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-258831

(P2002-258831A)

(43)公開日 平成14年9月11日(2002.9.11)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>		織別記号		FΙ			Ť	-73-1*(参考)
G09G	5/36			G06T	3/60			5B057
G06T	3/60			G09G	<b>5/0</b> 0		510T	5 C O 7 6
G09G	5/00	5 <b>1 0</b>			5/34		Α	5 C O 8 2
				H04N	1/387			
	5/391			G09G	5/36		520K	
			<b>宋髓查書</b>	有 請求	項の数12	OL	(全 14 頁)	最終質に続く

(21)出願番号

**特腊2001-55254(P2001-55254)** 

(22)出願日

平成13年2月28日(2001.2.28)

(71) 出職人 000005267

プラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(72) 発明者 関 貴夫

名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 ブラザー

工業株式会社内

(74)代理人 100086380

弁理士 吉田 稔 (外2名)

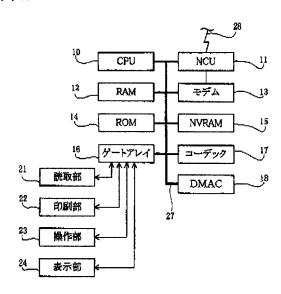
最終頁に続く

#### (54) 【発明の名称】 画像処理装置およびコンピュータプログラム

### (57)【要約】

【課題】 画面上でイメージデータを回転させたり、拡大/縮小表示させたりする際には、その時点で注目していた表示部分を中心としつつも、できる限りイメージデータの存在しない不要部分を排除してイメージデータを回転表示や拡大/縮小表示することができるファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 CPU10は、画面上に表示されたイメージデータを回転表示させるにあたり、RAM12に展開されたイメージデータをそのままとしつつも、画面の表示走査領域における中央を中心として、その表示走査領域をイメージデータの展開領域に対して相対的に回転させる。回転された表示走査領域がイメージデータの展開領域から逸脱する場合、CPU10は、表示走査領域をイメージデータの展開領域内に変位させる。



(2)

特開2002-258831

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 メモリ空間に展開されたイメージデータ を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画 節の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、 前記画面上に表示された前記イメージデータを回転表示 させるにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメ ージデータをそのままとしつつも、前記表示走査領域の 所定点を中心として、その表示走査領域を相対的に回転 させる表示走査領域回転手段と、

1

前記表示走查領域回転手段により回転された後の表示走 10 査領域が前記メモリ空間における前記イメージデータの 展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イ メージデータの展開領域内に変位させて前記メモリ空間 に対応させる表示走査領域制御手段とを有することを特 徴とする画像処理装置。

【請求項2】 メモリ空間に展開されたイメージデータ を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画 面の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、 前記画面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮 小表示させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメー 20 ジデータの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走 査領域の所定点を不変として、その表示走査領域を相対 的に変位させる表示走査領域変位手段と、

前記表示走查領域変位手段により変位された後の表示走 **査領域が前記メモリ空間における前記イメージデータの** 展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イ メージデータの展開領域内に変位させて前記メモリ空間 に対応させる表示走査領域制御手段とを有することを特 徴とする画像処理装置。

【請求項3】 メモリ空間に展開されたイメージデータ 30 ム。 を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画 面の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、 前記画面上に表示された前記イメージデータを回転表示 させるにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメ ージデータをそのままとしつつも、前記表示走査領域の 中央を中心として、その表示走査領域を相対的に回転さ せる表示走査領域回転手段とを有することを特徴とする 画像処理装置。

【請求項4】 メモリ空間に展開されたイメージデータ を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画 40 面の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、 前記画面上に表示された前記イメージデータを拡大/締 小表示させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメー ジデータの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走 査領域の上辺中央を不変として、その表示走査領域を相 対的に変位させる表示走査領域変位手段とを有すること を特徴とする画像処理装置。

【請求項5】 前記表示走査領域制御手段は、前記画面 上に表示された前記イメージデータをスクロール表示さ せる際、その時点での表示中の拡大/縮小率に応じて前 50 るためのコンピュータプログラムであって、

記表示走査領域を移動させる一方、その表示走査領域を **節記イメージデータの展開領域から逸脱しない範囲内に** て移動させる、請求項1または2に記載の画像処理装

【請求項6】 前記イメージデータとしてファクシミリ データを前記メモリ空間に展開する際には、主走査方向 と副走査方向の解像度がほぼ一致するように展開する、 請求項1ないし5のいずれかに記載の画像処理装置。

【請求項7】 副走査方向は標準解像度として、主走査 方向を副走査方向の解像度にほぼ一致するように展開す る、請求項6に記載の画像処理装置。

【請求項8】 主走査方向のデータを間引くことによっ て副走査方向の解像度を合わせる、請求項1に記載の画

【請求項9】 メモリ空間に展開されたイメージデータ を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画 面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制御する ためのコンピュータプログラムであって、

前記画面上に表示された前記イメージデータを回転表示 させるにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメ ージデータをそのままとしつつも、前記表示走査領域の 所定点を中心として、その表示走査領域を相対的に回転 させるための表示走査領域回転プログラムと、

前記表示走査領域回転プログラムに基づいて回転された 後の表示走査領域が前記メモリ空間における前記イメー ジデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領 域を前記イメージデータの展開領域内に変位させて前記 メモリ空間に対応させるための表示走査領域制御プログ ラムとを含むことを特徴とするコンピュータブログラ

【請求項10】 メモリ空間に展開されたイメージデー タを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記 画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制御す るためのコンピュータプログラムであって、

前記画面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮 小表示させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメー ジデータの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走 査領域の所定点を不変として、その表示走査領域を相対 的に変位させるための表示走査領域変位プログラムと、 前記表示走査領域変位プログラムに基づいて変位された 後の表示走査領域が前記メモリ空間における前記イメー ジデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領 域を前記イメージデータの展開領域内に変位させて前記 メモリ空間に対応させるための表示走査領域制御プログ ラムとを含むことを特徴とするコンピュータプログラ

【請求項11】 メモリ空間に展開されたイメージデー 夕を画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記 画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制御す

4

前記画面上に表示された前記イメージデータを回転表示させるにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメージデータをそのままとしつつも、前記表示走査領域の中央を中心として、その表示走査領域を相対的に回転させるための表示走査領域回転プログラムとを含むことを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項12】 メモリ空間に展開されたイメージデータを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制御するためのコンピュータプログラムであって、

前記画面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮 小表示させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメー ジデータの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走 査領域の上辺中央を不変として、その表示走査領域を相 対的に変位させるための表示走査領域変位プログラムと を含むことを特徴とするコンピュータプログラム。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、たとえばファクシ ミリ装置などにおいて、ビデオメモリに展開されたイメ 20 ージデータを画面上に表示するための画像処理装置に関 する。

#### [0002]

【従来の技術】最近のファクシミリ装置には、受信したファクシミリデータを用紙上に打ち出さなくても、イメージデータとしてビデオメモリに格納しておき、その後それを表示して確認できるといった比較的大きなサイズの表示画面を備えたものがある。この種の表示画面を備えたファクシミリ装置では、イメージデータを画面上で回転させたり、拡大/縮小表示させたりすることが可能 30 とされ、ユーザにとっては便利な機能が提供されている。

### [0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、画面上 でイメージデータを回転させたり、拡大/縮小表示させ たりすると、その前の表示状態から一転してイメージデ ータの存在しない不要部分が画面上に表示されることが あり、それに伴って本来見えるべきイメージデータの一 部が画面上から消えて見えなくなることもあることか ら、この点に関して使い勝手が良くないこともあった。 【0004】本発明は、上記の点に鑑みて提案されたも のであって、画面上でイメージデータを回転させたり、 拡大/縮小表示させたりする際には、その時点で注目し でいた表示部分を中心としつつも、できる限りイメージ データの存在しない不要部分を排除してイメージデータ を回転表示や拡大/縮小表示することができる画像処理 装置、およびそのような画像処理装置の動作を実現する ためのコンピュータプログラムを提供することを目的と する。

#### [0005]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載した発明の画像処理装置は、メモリ空間に展開されたイメージデータを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、前記画面上に表示的記以を明記イメージデータを回転表示させるにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメージデータを心として、その表示走査領域を相対的に回転させる表示走査領域を相対的に回転させる表示走査領域を相対的に回転させる表示走査領域が前記メモリ空間における前記イメージデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イメージデータの展開領域内に変位させてメージデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イメージデータの展開領域内に変位させて、また。

【0006】このような画像処理装置によれば、画面上でイメージデータを回転表示する際には、その時点で画面上に捉えていた所定点を中心としてイメージデータが回転しつつも、そのイメージデータが存在するメモリ空間内の展開領域内に収まるように画面の表示走査領域が割り当てられるので、実際の画面上においては、不要部分ができる限り排除された状態で回転したイメージデータを表示することができる。

【0007】また、請求項2に記載した発明の画像処理 装置は、メモリ空間に展開されたイメージデータを画面 上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画面の表 示走查領域を対応させる画像処理装置であって、前記画 面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮小表子 させるにあたり、前記メモリ空間にて前記者不走査領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走査領域を拡大/の所定点を不変として、その表示走査領域を相対的に変を 位手段により変位された後の表示走査領域が前記メモリ空間における前記イメージデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イメージデータの展開領域内に変位させて前記メモリ空間に対応させる表示走査領域制御手段とを有することを特徴とする。

【0008】このような画像処理装置によれば、画面上でイメージデータを拡大/縮小表示する際には、その時40点で画面上に捉えていた所定点を不変としてイメージデータが拡大/縮小しつつも、そのイメージデータが存在するメモリ空間内の展開領域内に収まるように画面の表示走査領域が割り当てられるので、実際の画面上においては、不要部分ができる限り排除された状態で拡大/縮小したイメージデータを表示することができる。

【0009】さらに、請求項3に記載した発明の画像処理装置は、メモリ空間に展開されたイメージデータを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置であって、前記50 画面上に表示された前記イメージデータを回転表示させ

るにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメージ データをそのままとしつつも、前記表示走査領域の中央 を中心として、その表示走査領域を相対的に回転させる 表示走査領域回転手段とを有することを特徴とする。

【0010】このような画像処理装置によれば、画面上 に表示中のイメージデータをその中央付近を中心として 回転した状態とすることができる。

【0011】また、請求項4に記載した発明の画像処理 装置は、メモリ空間に展開されたイメージデータを画面 示走査領域を対応させる画像処理装置であって、前記画 面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮小表示 させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメージデー タの展開領域を拡大/縮小しつつち、前記表示走査領域 の上辺中央を不変として、その表示走査領域を相対的に 変位させる表示走査領域変位手段とを有することを特徴 とする。

【0012】このような画像処理装置によれば、画面上 に表示中のイメージデータをその上辺中央付近を中心と して拡大/縮小した状態とすることができる。

【0013】さらに、請求項5に記載した発明の画像処 理装置は、請求項1または2に記載の画像処理装置であ って、前記表示走査領域制御手段は、前記画面上に表示 された前記イメージデータをスクロール表示させる際、 その時点での表示中の拡大/縮小率に応じて前記表示走 査領域を移動させる一方、その表示走査領域を前記イメ ージデータの展開領域から逸脱しない範囲内にて移動さ せる。

【0014】このような画像処理装置によれば、請求項 1または2に記載の画像処理装置による効果に加えて、 30 画面上でイメージデータをスクロール表示する際には、 その時点で表示中の拡大/縮小率に応じてイメージデー 夕を移動させることができるとともに、それに伴ってイ メージデータの存在しない不要部分まで表示される状態 を回避することができる。

【0015】また、請求項6に記載した発明の画像処理 装置は、請求項1ないし5のいずれかに記載の画像処理 装置であって、前記イメージデータとしてファクシミリ データを前記メモリ空間に展開する際には、主走査方向 と副走査方向の解像度がほぼ一致するように展開する。 【0016】このような画像処理装置によれば、請求項 1ないし5のいずれかに記載の画像処理装置による効果 に加えて、データの解像度によらず、縦横比がほぼ一致 するように表示することができる。

【0017】さらに、請求項7に記載した発明の画像処 理装置は、請求項6に記載の画像処理装置であって、副 走査方向は標準解像度として、主走査方向を副走査方向 の解像度にほぼ一致するように展開する。

【0018】このような画像処理装置によれば、請求項 6に記載の画像処理装置による効果に加えて、表示部が 50

比較的小さい場合であっても図形の範囲を幅広く表示で きる。

【0019】また、請求項8に記載した発明の画像処理 装置は、請求項7に記載の画像処理装置であって、主走 査方向のデータを間引くことによって副走査方向の解像 度を合わせる。

【0020】このような画像処理装置によれば、請求項 7に記載の画像処理装置による効果に加えて、間引くと いう簡単な処理で、解像度を合わせることができる。

上に表示する際、前記メモリ空間に対して前記画面の表 10 【0021】さらに、請求項9に記載した発明のコンピ ュータブログラムは、メモリ空間に展開されたイメージ データを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して 前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制 御するためのコンピュータプログラムであって、前記画 面上に表示された前記イメージデータを回転表示させる にあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメージデ 一夕をそのままとしつつも、前記表示走査領域の所定点 を中心として、その表示走査領域を相対的に回転させる ための表示走査領域回転プログラムと、前記表示走査領 域回転プログラムに基づいて回転された後の表示走査領 域が前記メモリ空間における前記イメージデータの展開 領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前記イメー ジデータの展開領域内に変位させて前記メモリ空間に対 応させるための表示走査領域制御プログラムとを含むこ とを特徴とする。

> 【0022】このようなコンピュータプログラムによれ ば、その内容に基づいてCPUを動作させることによ り、請求項1に記載の画像処理装置の動作を実現するこ とができる。

【0023】また、請求項10に記載した発明のコンピ ュータプログラムは、メモリ空間に展開されたイメージ データを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して 前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制 御するためのコンピュータプログラムであって、前記画 面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮小表示 させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメージデー タの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走査領域 の所定点を不変として、その表示走査領域を相対的に変 位させるための表示走査領域変位プログラムと、前記表 40 示走査領域変位プログラムに基づいて変位された後の表 示走査領域が前記メモリ空間における前記イメージデー タの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域を前 記イメージデータの展開領域内に変位させて前記メモリ 空間に対応させるための表示走査領域制御プログラムと を含むことを特徴とする。

【0024】このようなコンピュータプログラムによれ ば、その内容に基づいてCPUを動作させることによ り、請求項2に記載の画像処理装置の動作を実現するこ とができる。

【0025】さらに、請求項11に記載した発明のコン

ピュータプログラムは、メモリ空間に展開されたイメー ジデータを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対し て前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を 制御するためのコンピューダプログラムであって、前記 画面上に表示された前記イメージデータを回転表示させ るにあたり、前記メモリ空間に展開された前記イメージ データをそのままとしつつも、前記表示走査領域の中央 を中心として、その表示走査領域を相対的に回転させる ための表示走査領域回転プログラムとを含むことを特徴 とする。

【0026】このようなコンピュータプログラムによれ ば、その内容に基づいてCPUを動作させることによ り、請求項3に記載の画像処理装置の動作を実現するこ とができる。

【0027】また、請求項12に記載した発明のコンピ ュータプログラムは、メモリ空間に展開されたイメージ データを画面上に表示する際、前記メモリ空間に対して 前記画面の表示走査領域を対応させる画像処理装置を制 御するためのコンピュータプログラムであって、前記画 面上に表示された前記イメージデータを拡大/縮小表示 20 ためのスプライト・バッファに区分けされている。特 させるにあたり、前記メモリ空間にて前記イメージデー タの展開領域を拡大/縮小しつつも、前記表示走査領域 の上辺中央を不変として、その表示走査領域を相対的に 変位させるための表示走査領域変位プログラムとを含む ことを特徴とする。

【0028】このようなコンピュータプログラムによれ ば、その内容に基づいてCPUを動作させることによ り、請求項4に記載の画像処理装置の動作を実現するこ とができる。

# [0029]

【発明の実施の形態】以下、本発明の好ましい実施の形 態について図面を参照して説明する。

【0030】図1は、本発明に係る画像処理装置の一実 施形態として、ファクシミリ装置を示すプロック図、図 2は、ファクシミリ装置の外観を示す外観図である。特 に、図2に良く示すように、本実施形態に係るファクシ ミリ装置は、受信したファクシミリデータなどをイメー ジデータとして表示できる比較的大きな液晶ディスプレ イなどの表示部24を備えたものである。

ミリ装置は、CPU10、NCU11、RAM12、モ デム13、ROM14、NVRAM(不揮発性RAM: Non-Volatile RAM) 15、ゲートアレイ16、コーデッ ク17、DMAC18、読取部21、印刷部22、操作 部23、および表示部24などを具備して概略構成され ている。CPU10、NCU11、RAM12、モデム 13、ROM14、NVRAM15、ゲートアレイ1 6、コーデック17、およびDMAC18は、バス線2 7により相互に接続されている。バス線27には、アド ゲートアレイ16には、読取部21、印刷部22、操作 部23、および表示部24が接続されている。NCU1 1には、公衆電話回線28が接続されている。

【0032】CPU10は、ファクシミリ装置全体の動 作を制御する。NCU11は、公衆電話回線28に接続 されて網制御を行う。RAM12は、CPU10の作業 領域や各種データのバッファ領域などを提供する。図3 は、RAM12のアドレス空間を説明するための説明図 であるが、この図3に示すように、RAM12のアドレ 10 ス空間は、受信したファクシミリデータをそのままイメ ージデータとして格納しておくためのFAX受信バッフ ァ (図3に受信パッファは図示せず)、受信したファク シミリデータを主走査方向について1/2に間引いたデ ータを格納しておくための表示用FAXイメージバッフ ア、画面上に表示すべきテキストデータを展開するため のテキストVRAM (Video RAM)、FAXイメージパ ッファに格納されたイメージデータを画面表示用に展開 するためのFAXプレビューVRAM、画面全体のグラ フィック表示とは独立した図形パターンを格納しておく に、このうちのFAXプレビューVRAMがビデオメモ リとして利用される。なお、以下の説明においてVRA Mと言う場合には、FAXプレビューVRAMを指すも のとする。モデム13は、音声信号の変調や復調などを 行う。ROM14は、CPU10が実行すべきプログラ ムなどを記憶している。NVRAM15は、各種の情報 やデータを記憶する。ゲートアレイ16は、CPU10 と各部21~24とのインターフェイスとして機能す る。コーデック17は、音声信号やデータなどの符号化 30 や復号化を行う。DMAC18は、CPU10を介する ことなくRAM12などとの間で直接データのやり取り を行う。

【0033】読取部21は、イメージセンサやLED光 源などを備え、原稿などから文字や図形などの画像を読 み取る。印刷部22は、たとえばインクジェット方式な どにより文字や図形などの画像を用紙上に印刷する。操 作部23は、図2に良く示すように、テンキーや各種の 操作ボタンなどを備え、ユーザの操作に応じた入力信号 をCPU10に伝える。表示部24は、先述したように 【0031】図1を主に参照して説明すると、ファクシ 40 一例として320×240ドットとした液晶ディスプレ イを備え、イメージデータを表示するほか、テキストデ ータなども表示する。ここで、FAXイメージバッファ について補足する。たとえばB4サイズの原稿の場合、 受信データサイズは2048×1363(標準解像度 時)であるため、読み取りまたは受信したファクシミリ データのイメージを表示部(横320×縦240)にそ のまま表示すると、ごく一部しか表示できない。また、 表示部24に液晶ディスプレイを使用したときには、画 素サイズは固定となるが、ファクシミリのように標準解 レスバス、データバス、および制御信号線が含まれる。 50 像度、ファイン、スーパーファイン(独自モード)など

の解像度で、主走査方向は常に一定で8本/mm、副走 査方向(縦方向)のみ解像度がそれぞれ3.85本/m m、7. 7本/mm、15. 4本/mmと変わる場合に は、そのまま受信データを表示するようにすると、画像 が縮んだり、伸びたりすることになる。そこで、横のサ イズについては1/2に間引き、縦方向については横の 解像度と表示部24の画素の縦横比に合わせて、たとえ ば横を1/2、表示部24の画素の縦横比が1:1の場 合は、縦方向はデータがどの解像度でも全て標準解像度 ージバッファを設けている。

【0034】要点について説明すると、本ファクシミリ 装置では、表示部24の画面上に表示されたイメージデ ータを回転させたり、拡大/縮小させたりすることがで き、さらには、スクロール表示することもできる。

【0035】図4は、イメージデータの回転や拡大/縮 小に伴うデータ処理を説明するための説明図、図5ない し図7は、一例としてイメージデータを回転させる場合 を説明するための説明図、図8ないし図10は、一例と してイメージデータを縮小させる場合を説明するための 20 説明図である。まず、図4を参照して概要を説明する と、B4サイズの原稿の場合は既に説明した通り、受信 データサイズは2048×1363になる。そうする と、ファクシミリイメージデータのサイズは1024× 1363となるが、原稿の長いものにも対応できるよう にするためと計算し易いように、副走査方向のサイズを 512の3倍の1536としている。以降の説明では、 1/1サイズのイメージサイズを1024×1536と して説明する。イメージデータを表示する際、CPU1 Oは、そのイメージデータをFAXイメージバッファか 30 ちVRAMに転送する。このとき、たとえば1/1(1  $024 \times 1536$ ), 1/2 (512×768), 1/24 (256×384) などの縮小率に関わらず、イメー ジデータは、常にVRAMの左上を原点として展開され る。なお、詳細については後の説明に委ねるが、イメー ジデータを回転させる場合には、VRAMのアドレス空 間においてイメージデータはそのままの状態とされる。 また、縮小率を変更して現時点で表示中のイメージデー タを拡大/縮小表示させる場合には、一旦VRAMをク リアした後、変更後の縮小率に応じたイメージデータが 40 展開される。

【0036】イメージデータをVRAMに展開すると、 CPU10は、そのVRAMのアドレス空間に対して画 面の表示走査領域(図示省略)を対応させる。この表示 走査領域とは、イメージデータの展開領域から画面上に 表示する部分を写し取るための仮想的なフレームであっ て、画面全体サイズと同じ320×240の固定サイズ に設定されている。スクロール表示する際、画面上にお いては、あたかもイメージデータが動いているかのよう

走査領域がVRAMのアドレス空間上を縮小率に応じた スクロール量をもって移動するものとされる。この表示 走査領域によって写し取られたVRAMの一部領域に含 まれるイメージデータは、画面全体にわたって表示され るが、その際、常に表示走査領域の左上から走査し始め てイメージデータが画面上へと転送されることとなる。 【0037】一方、イメージデータを回転表示させる場 合、CPU10は、VRAMのアドレス空間に展開され たイメージデータをそのままの状態とする一方で、その の解像度に変換したデータを格納するためにFAXイメ 10 時点でアドレス空間内のある部分を捉えた状態にある表 示走査領域を、そのちょうど中央を中心として回転させ る。すると、画面上においては、あたかもイメージデー タがたとえば時計の逆方向に回転したかのように見える が、実際には、CPU10の制御によって表示走査領域 がVRAMのアドレス空間上において時計方向に回転し た状態とされるのである。

> 【0038】以上のようにしてイメージデータを画面上 で回転表示したり、拡大/縮小表示したり、さらには、 スクロール表示できるのであるが、表示走査領域の位置 によっては、この表示走査領域がアドレス空間外にはみ 出た状態となったり、アドレス空間内に収まる状態でも イメージデータの存在しない領域を捉えた状態となって しまうことがある。そうした場合、画面上においては、 イメージデータの存在しない不要部分が画面上に表示さ れるとともに、本来見えるべきイメージデータの一部が 画面上から消えて見えなくなるといった問題が生じる。 このような点を解消すべく、本実施形態では、以下に説 明するように、表示走査領域の位置をその都度適当に制 御するものとしている。

【0039】まず、イメージデータを回転表示させる場 合について図5ないし図7を参照して説明すると、図5 に一例として示すように、1/2サイズのイメージデー タを回転させる前、CPU10は、そのイメージデータ をVRAMに展開した状態で、太い枠線で示す表示走査 領域の走査開始点(図中、「×」座標(X0, Y0)で **示す)をイメージデータの左上に一致させた状態として** いる。この状態では、画面上において1/2サイズのイ メージデータの左上部分が表示され、イメージデータの 存在しない不要部分が画面上に表示されることはない。 【0040】そして、画面上においてイメージデータが 時計とは逆方向に90度回転するように指示されると、 CPU10は、図6に示すように、イメージデータをそ のままとした状態とする一方で、表示走査領域をその中 央(図中、「O」で示す)を中心として時計方向に90 度回転させる。すると、画面上においては、相対的にイ メージデータが時計とは逆方向に90度回転したように 見えるが、表示走査領域の走査開始点はイメージデータ の展開領域外に位置するため(図中「×」の座標は(X Y1)に移動するため)、この状態では、イメージ に見えるが、実際には、CPU10の制御によって表示 50 データの存在しない不要部分が画面上に表示されてしま 11

う。

【0041】そのため、CPU10は、図7に示すよう に、表示走査領域をイメージデータの展開領域内に変位 させ (図中「×」の座標を (X1, Y2) に変位させ て)、その後、表示走査領域の走査開始点から走査し始 めてイメージデータを画面上へと転送している。これに より、画面上においては、イメージデータが時計とは逆 方向に90度回転したように見えつつも、イメージデー タの存在しない不要部分が画面上に表示されることはな

【0042】次に、イメージデータを1/1サイズから 1/2サイズに縮小表示させる場合について図8ないし 図10を参照して説明すると、図8に一例として示すよ うに、イメージデータを縮小する前、CPU10は、1 / 1 サイズのイメージデータをVRAMに展開した状態 で、太い枠線で示す表示走査領域の走査開始点(図中、 「×」座標(XO, YO) で示す) をイメージデータの 左上に一致させた状態としている。この状態では、画面 上において1/1サイズのイメージデータの左上部分が 表示され、イメージデータの存在しない不要部分が画面 20 上に表示されることはない。

【0043】そして、画面上においてイメージデータを 1/2サイズに縮小表示するように指示されると、CP U10は、図9に示すように、1/1サイズのイメージ データをVRAMからクリアした後、そのVRAMに対 して1/2サイズに縮小したイメージデータを展開す る。このとき、表示走査領域は、その上辺中央(図中、

「●」で示す)で捉えていたイメージデータ上の点を縮 小後も同じ上辺中央で捉える状態とされ、つまり、表示 の展開領域から若干左寄りにはみ出た状態(図中「×」 の座標が(X3, Y3)となる状態)とされる。する と、画面上においては、イメージデータが1/2サイズ に縮小されたように見えるが、この状態では、イメージ データの存在しない不要部分が画面上に表示されてしま

【0044】そのため、CPU10は、図10に示すよ うに、表示走査領域をイメージデータの展開領域内に変 位させ(図中「×」の座標を(X4、Y4)に変位させ て)、その後、表示定查領域の走査開始点から走査し始 40 めてイメージデータを画面上へと転送している。これに より、画面上においては、イメージデータが1/2サイ ズに縮小したように見えつつも、イメージデータの存在 しない不要部分が画面上に表示されることはない。な お、イメージデータを拡大表示する場合についても同様 の手順で表示走査領域が制御される。

【0045】つまり、イメージデータを回転表示させた り、拡大/縮小表示させたりする場合、CPU10は、 表示走査領域の走査開始点がイメージデータの展開領域 に対して位置する相対的なアドレス座標を算出する一

方、この走査開始点のアドレス座標が所定の限界条件を 満たさないときには、走査開始点のアドレス座標を所定 の限界値に変換することで表示走査領域全体をイメージ データの展開領域内に収めた状態とするのである。

【0046】図11は、表示走査領域に関する限界条件 を説明するための説明図である。この図に示すように、 各行は、イメージデータの各サイズを表し、各列は、イ メージデータの回転角度を表す。そして、各行各列が交 差する欄には、表示走査領域の走査開始点がイメージデ 10 一タの展開領域に対して相対的に配置可能とされる範囲 がアドレス座標の上限値および下限値をもって示されて いる。このような限界条件は、テーブル情報としてRO M14などに記憶されており、その都度CPU10によ って参照されるものとされる。つまり、図11に示す限 界条件から言えることは、イメージデータを画面上に表 示する際、表示走査領域がイメージデータの展開領域か ら逸脱しない範囲内に必ず配置されるように、その表示 走査領域の走査開始点が所定範囲内に位置すべきものと される。このような限界条件は、イメージデータを回転 表示させたり、拡大/縮小表示させたりする場合に限ら ず、スクロール表示する際にも適用され、ユーザが許容 範囲を越えてスクロール操作を行っても、CPU10が 限界条件に基づいて表示走査領域を制御することによ り、画面上においてイメージデータの存在しない不要部 分までスクロール表示されることはない。なお、1/4 サイズのイメージデータを0度あるいは180度回転さ せた状態で画面上に表示する場合には、イメージデータ の展開領域の横幅(256)に比べて表示走査領域の横 幅(320)が大きくなることから、必然的に画面上に 走査領域全体としては、1/2サイズのイメージデータ 30 おいてイメージデータの存在しない不要部分が表示され

【0047】すなわち、CPU10は、画面上に表示さ れたイメージデータを回転表示させるにあたり、メモリ 空間に展開されたイメージデータをそのままとしつつ も、表示走査領域の所定点を中心として、その表示走査 領域を相対的に回転させる表示走査領域回転手段と、表 示走査領域回転手段により回転された後の表示走査領域 がメモリ空間におけるイメージデータの展開領域から逸 脱する場合、その表示走査領域をイメージデータの展開 領域内に変位させてメモリ空間に対応させる表示走査領 域制御手段とを実現している。また、CPU10は、画 面上に表示されたイメージデータを拡大/縮小表示させ るにあたり、メモリ空間にてイメージデータの展開領域 を拡大/縮小しつつも、表示走査領域の所定点を不変と して、その表示走査領域を相対的に変位させる表示走査 領域変位手段と、表示走査領域変位手段により変位され た後の表示走査領域がメモリ空間におけるイメージデー タの展開領域から逸脱する場合、その表示走査領域をイ メージデータの展開領域内に変位させてメモリ空間に対 50 応させる表示走査領域制御手段とを実現している。

14

【0048】ROM14に記憶されたプログラムは、メアドレモリ空間に展開されたイメージデータを画面上に表示す限値よる際、メモリ空間に対して画面の表示走査領域を対応さによるせる画像処理装置を制御するためのコンピュータプログれる。ラムであって、画面上に表示されたイメージデータを回【00

13

転表示させるにあたり、メモリ空間に展開されたイメージデータをそのままとしつつも、表示走査領域の所定点を中心として、その表示走査領域を相対的に回転させるための表示走査領域回転プログラムと、表示走査領域回

転プログラムに基づいて回転された後の表示走査領域が 10 メモリ空間におけるイメージデータの展開領域から逸脱 する場合、その表示走査領域をイメージデータの展開領 域内に変位させてメモリ空間に対応させるための表示走

査領域制御プログラムとを含むコンピュータプログラム を実現している。また、ROM14は、画面上に表示されたイメージデータを拡大/縮小表示させるにあたり、 メモリ空間にてイメージデータの展開領域を拡大/縮小

しつつも、表示走査領域の所定点を不変として、その表示走査領域を相対的に変位させるための表示走査領域変位プログラムに基づい 20 て変位された後の表示走査領域がメモリ空間におけるイ

メージデータの展開領域から逸脱する場合、その表示走 査領域をイメージデータの展開領域内に変位させてメモ り空間に対応させるための表示走査領域制御プログラム とを含むコンピュータプログラムを実現している。

【0049】次に、イメージデータを回転表示させたり、拡大/縮小表示させたりする場合にCPU10が行う処理について説明する。

【0050】図12は、回転表示処理の動作手順を示すフローチャート、図13は、拡大/縮小表示処理の動作 30 手順を示すフローチャートである。まず、図12を主に参照してイメージデータを回転表示させる場合について説明する。なお、説明を分かり易くするために図5ないし図7に示す一例に従うものとして、0度の状態で画面上に表示中にある1/2サイズのイメージデータを時計とは逆方向に90度回転させるものとする。

【0051】まず、イメージデータの回転が指示されると、CPU10は、図5から図6にかけて示すように、イメージデータが画面上で見かけ上回転する方向とは逆方向(時計方向)に表示走査領域を回転させる(S1)。このとき、イメージデータは、VRAMのアドレス空間に再配置されることなくそのままの状態とされる。また、表示走査領域は、先述したように、その中央を中心として相対的に回転させられる。

【0052】そして、CPU10は、表示走査領域の左上となる走査開始点のアドレス座標(X1, Y1)を算出する(S2)。このとき、アドレス座標の原点は、表示走査領域の回転に伴って図6に示すイメージデータの右上に位置し、XY軸も図6に示す位置とされる。

【0053】続いて、CPU10は、算出したX方向の 50 においても、表示走査領域がイメージデータの展開領域

アドレス座標X1が図11に示す限界条件に基づいて下 限値よりも小さいか否かを判断する(S3)。この処理 による一例では、X方向の下限値として「O」が与えら れる。

【0054】アドレス座標X1が下限値よりも小さくない場合(S3:NO)、CPU10は、そのアドレス座標X1が同じく限界条件に基づいて上限値よりも大きいか否かを判断する(S4)。この処理による一例では、X方向の上限値として「448」が与えられる。

【0055】アドレス座標X1が上限値よりも大きくない場合(S4:NO)、CPU10は、最終的に走査開始点のX方向のアドレス座標を「X1」として確定し、これを保持する(S5)。

【0056】同様にして、CPU10は、S2において 算出したY方向のアドレス座標Y1が図11に示す限界 条件に基づいて下限値よりも小さいか否かを判断する (S6)。この処理による一例では、Y方向の下限値と して「0」が与えられる。

【0057】アドレス座標Y1が下限値よりも小さくない場合(S6:NO)、CPU10は、そのアドレス座標Y1が同じく限界条件に基づいて上限値よりも大きいか否かを判断する(S7)。この処理による一例では、Y方向の上限値として「272」が与えられる。

【0058】アドレス座標Y1が上限値よりも大きくない場合(S7:NO)、CPU10は、最終的に走査開始点のY方向のアドレス座標を「Y1」として確定し、これを保持する(S8)。

【0059】こうして走変開始点のアドレス座標が確定すると、CPU10は、そのアドレス座標に基づく走査開始点から順次イメージデータを取り込むとともに、一定の走査手順にしたがってそのイメージデータを画面上へと転送することで表示させ、この回転表示処理を終える(S9)。これにより、画面上においては、あたかもイメージデータが回転したように見える一方で、イメージデータの存在しない不要部分が画面上に表示されることはない。

【0060】S7において、アドレス座標¥1が上限値よりも大きい場合(S7:YES)、CPU10は、走査開始点のY方向のアドレス座標を上限値として確定した後(S10)、S9に進む。つまり、このような場合では、表示走査領域がイメージデータの展開領域内に収まるように変位され、画面上においては、あたかもイメージデータが回転したように見える一方で、イメージデータの存在しない不要部分が画面上に表示されることはない。

【0061】S6において、アドレス座標Y1が下限値よりも小さい場合(S6:YES)、CPU10は、走査開始点のY方向のアドレス座標を下限値として確定した後(S11)、S9に進む。つまり、このような場合にないても、まず土本領域がイメージデータの展開領域

内に収まるように変位され、画面上においては、あたか もイメージデータが回転したように見える一方で、イメ ージデータの存在しない不要部分が画面上に表示される ことはない。

15

【0062】S4において、アドレス座標X1が上限値 よりも大きい場合(S4:YES)、CPU10は、走 査開始点のX方向のアドレス座標を上限値として確定し た後(S12)、S6に進む。つまり、このような場合 においても、表示走査領域がイメージデータの展開領域 内に収まるように変位され、画面上においては、あたか 10 もイメージデータが回転したように見える一方で、イメ ージデータの存在しない不要部分が画面上に表示される ことはない。

【0063】 S3において、アドレス座標 X1が下限値 よりも小さい場合(S3:YES)、CPU10は、走 査開始点のX方向のアドレス座標を下限値として確定し た後(S13)、S6に進む。つまり、このような場合 においても、表示走査領域がイメージデータの展開領域 内に収まるように変位され、画面上においては、あたか もイメージデータが回転したように見える一方で、イメ ージデータの存在しない不要部分が画面上に表示される ことはない。

【0064】なお、図5ないし図7に示す一連の処理 は、図12に示すS1~S3の次にS13を経て、S6 ~ S 9 を C P U 1 0 が実行した場合に相当する。

【0065】次に、図13を主に参照してイメージデー タを拡大/縮小表示させる場合について説明する。な お、説明を分かり易くするために図8ないし図10に示 す一例に従うものとして、0度の状態で画面上に表示中 縮小させるものとする。

【0066】まず、イメージデータの縮小が指示される と、CPU10は、図8から図9にかけて示すように、 縮小サイズに応じたイメージデータをVRAM上に展開 する(520)。このとき、縮小前の元のイメージデー タがVRAMから一旦クリアされた後、縮小したイメー ジデータが展開される。

【0067】また、CPU10は、先述したように、表 示走査領域の上辺中央で捉えていたイメージデータの点 が間じ上辺中央にて捉えられるように、その表示走査領 40 一夕の存在しない不要部分が画面上に表示されることは 域の全体位置を変更させる(521)。

【0068】そして、CPU10は、表示走査領域の左 上となる走査開始点のアドレス座標(X3、Y3)を算 出する(S22)。このとき、アドレス座標の原点は、 変更されることなく元の位置とされる。

【0069】続いて、CPU10は、算出したX方向の アドレス座標X3が図11に示す限界条件に基づいて下 限値よりも小さいか否かを判断する(S23)。この処 理による一例では、X方向の下限値として「O」が与え られる。

【0070】アドレス座標x3が下限値よりも小さくな い場合(S23:NO)、CPU10は、そのアドレス 座標X3が同じく限界条件に基づいて上限値よりも大き いか否かを判断する(S24)。この処理による一例で は、※方向の上限値として「192」が与えられる。

【0071】アドレス座標X3が上限値よりも大きくな い場合(524:NO)、CPU10は、最終的に走査 開始点のX方向のアドレス座標を「X3」として確定 し、これを保持する(S25)。

【0072】同様にして、CPU10は、S22におい て算出したY方向のアドレス座標Y3が図11に示す限 界条件に基づいて下限値よりも小さいか否かを判断する (S26)。この処理による一例では、Y方向の下限値 として「0」が与えられる。

【0073】アドレス座標Y3が下限値よりも小さくな い場合(S26:NO)、CPU10は、そのアドレス 座標Y3が同じく限界条件に基づいて上限値よりも大き いか否かを判断する(527)。この処理による一例で は、Y方向の上限値として「528」が与えられる。

【0074】アドレス座標Y3が上限値よりも大きくな い場合 (S27:NO)、CPU10は、最終的に走査 開始点のY方向のアドレス座標を「Y3」として確定 し、これを保持する(\$28)。

【0075】こうして走査開始点のアドレス座標が確定 すると、CPU10は、そのアドレス座標に基づく走査 開始点から順次イメージデータを取り込むとともに、一 定の走査手順にしたがってそのイメージデータを画面上 へと転送することで表示させ、この拡大/縮小表示処理 を終える(S29)。これにより、画面上においては、 にある1/1サイズのイメージデータを1/2サイズに 30 イメージデータが縮小したように見える一方で、イメー ジデータの存在しない不要部分が画面上に表示されるこ とはない。

> 【0076】S27において、アドレス座標Y3が上限 値よりも大きい場合 (S27:YES)、CPU10 は、走査開始点のY方向のアドレス座標を上限値として 確定した後(S30)、S29に進む。つまり、このよ うな場合には、表示走査領域がイメージデータの展開領 域内に収まるように変位され、画面上においては、イメ ージデータが縮小したように見える一方で、イメージデ ない。

【0077】526において、アドレス座標Y3が下限 値よりも小さい場合(S26:YES)、CPU10 は、走査開始点のY方向のアドレス座標を下限値として 確定した後(S31)、S29に進む。つまり、このよ うな場合においても、表示走査領域がイメージデータの 展開領域内に収まるように変位され、画面上において は、イメージデータが縮小したように見える一方で、イ メージデータの存在しない不要部分が画面上に表示され 50 ることはない。

18

17

【0078】524において、アドレス座標X3が上限 値よりも大きい場合(S24:YES)、CPUlo は、走査開始点のX方向のアドレス座標を上限値として 確定した後(532)、526に進む。つまり、このよ うな場合においても、表示走査領域がイメージデータの 展開領域内に収まるように変位され、画面上において は、イメージデータが縮小したように見える一方で、イ メージデータの存在しない不要部分が画面上に表示され ることはない。

値よりも小さい場合(S23:YES)、CPU10 は、走査開始点のX方向のアドレス座標を下限値として 確定した後(S33)、S26に進む。つまり、このよ うな場合においても、表示走査領域がイメージデータの 展開領域内に収まるように変位され、画面上において は、イメージデータが縮小したように見える一方で、イ メージデータの存在しない不要部分が画面上に表示され ることはない。

【0080】なお、図8ないし図10に示す一連の処理 は、図13に示すS20~S23の次にS33を経て、 S26~S29をCPU10が実行した場合に相当す。

【0081】以上のようにして画面上に縮小表示された イメージデータをスクロール表示させる場合には、CP U10が縮小率に応じたスクロール量をもって表示走査 領域を変位させることとなるが、この際においても、走 査開始点のアドレス座標が限界条件に基づく下限値から 上限値までの範囲内に存在するか否かが判断される。走 査開始点が下限値や上限値を越えてしまう場合には、そ の時点でスクロール表示が限界に達した状態とされ、そ 30 れ以上にわたって下限値や上限値を越えてしまうように ユーザがスクロール操作を行ってもスクロール表示され ることはなく、イメージデータの存在しない不要部分が 面面上に表示されることはない。

【0082】したがって、上記ファクシミリ装置によれ ば、画面上でイメージデータを回転表示する際には、画 面上の中央付近を中心として見かけ上イメージデータが 回転しつつも、そのイメージデータが存在するVRAM の展開領域内に表示走査領域が完全に収まる状態とされ り排除された状態で回転したイメージデータを表示する ことができる。

【0083】また、画面上でイメージデータを拡大/縮 小表示する際には、画面上の上辺中央付近を中心として イメージデータが拡大/縮小しつつも、そのイメージデ ータが存在するVRAMの展開領域内に表示走査領域が 完全に収まる状態とされるので、実際の画面上において は、不要部分ができる限り排除された状態で拡大/縮小 したイメージデータを表示することができる。

【0084】なお、本発明は、上記のの実施形態に限定 50 示する際には、その時点で画面上に捉えていた所定点を

されるものではない。

【0085】たとえば、本実施形態では、表示走査領域 がイメージデータの展開領域内に収まるようにしたが、 イメージデータ内に空白領域が存在する場合には、さら にその空白領域を除くように表示走査領域を変位させて も良い。

【0086】表示部24に通常つねに表示しておきたい 情報を表示するための領域、たとえばガイダンス表示と か、ファンクションキーの機能表示用などのイメージ表 【0079】S23において、アドレス座標×3が下限 10 示領域以外の領域としてあらかじめ確保された領域があ る場合には、その領域を考慮して表示走査領域を変化さ せても良い。

> 【0087】また、一度に表示できる領域をできる限り 広くすることを優先するときには、イメージ以外の表示 のために確保されている領域でも手動または自動で全て 消して、イメージデータを表示できるようにしても良 *ل*١٠.

【0088】本実施形態では、ファクシミリ受信データ について説明したが、読み取った原稿データであっても 20 良い。

【0089】本発明が適用される装置としては、ファク シミリ装置に限らず、イメージデータを画面上で回転表 示させたり、拡大/縮小表示させたりするものであれ ば、たとえば携帯型電話機や据置型の電話機であっても 良い。

【0090】イメージデータとしては、受信したファク シミリデータに限らず、電子メールデータや送信前に原 稿を読み取って作成されたファクシミリデータであって も良い。

【0091】イメージデータを回転表示する際の中心点 や、拡大/縮小表示する際の不動点は、必ずしも表示走 查領域の中央や上辺中央に固定されていなくても良く、 たとえばユーザが表示走査領域内の任意の点を指定でき るとしても良い。

【0092】回転角度や縮小率については、上記実施形 態に挙げた値に限らず、たとえばユーザが任意の値を設 定できるとしても良い。

[0093]

【発明の効果】以上説明したように、請求項1に記載し るので、実際の画面上においては、不要部分ができる限 40 た発明の画像処理装置によれば、画面上でイメージデー タを回転表示する際には、その時点で画面上に捉えてい た所定点を中心としてイメージデータが回転しつつも、 そのイメージデータが存在するメモリ空間内の展開領域 内に収まるように画面の表示走査領域が割り当てられる ので、実際の画面上においては、不要部分ができる限り 排除された状態で回転したイメージデータを表示するこ とができる。

> 【0094】また、請求項2に記載した発明の画像処理 装置によれば、画面上でイメージデータを拡大/縮小表

特開2002~258831 20

19

不変としてイメージデータが拡大/縮小しつつも、その イメージデータが存在するメモリ空間内の展開領域内に 収まるように画面の表示走査領域が割り当てられるの で、実際の画面上においては、不要部分ができる限り排 除された状態で拡大/縮小したイメージデータを表示す ることができる。

【0095】さらに、請求項3に記載した発明の画像処 理装置によれば、画面上に表示中のイメージデータをそ の中央付近を中心として回転した状態とすることができ

【0096】また、請求項4に記載した発明の画像処理 装置によれば、画面上に表示中のイメージデータをその 上辺中央付近を中心として拡大/縮小した状態とするこ とができる。

【0097】さらに、請求項5に記載した発明の画像処 理装置によれば、請求項1または2に記載の画像処理装 置による効果に加えて、画面上でイメージデータをスク ロール表示する際には、その時点で表示中の拡大/縮小 率に応じてイメージデータを移動させることができると ともに、それに伴ってイメージデータの存在しない不要 20 説明するための説明図である。 部分まで表示される状態を回避することができる。

【0098】また、請求項6に記載した発明の画像処理 装置によれば、請求項1ないし5のいずれかに記載の画 像処理装置による効果に加えて、データの解像度によら ず、縦横比がほぼ一致するように表示することができ

【0099】さらに、請求項7に記載した発明の画像処 理装置によれば、請求項6に記載の画像処理装置による 効果に加えて、表示部が比較的小さい場合であっても図 形の範囲を幅広く表示できる。

【0100】また、請求項8に記載した発明の画像処理 装置によれば、請求項7に記載の画像処理装置による効 果に加えて、間引くという簡単な処理で、解像度を合わ せることができる。

【0101】さらに、請求項9に記載した発明のコンピ ュータプログラムによれば、その内容に基づいてCPU を動作させることにより、請求項1に記載の画像処理装 置の動作を実現することができる。

【0102】また、請求項10に記載した発明のコンビ ュータプログラムによれば、その内容に基づいてCPU 40 18 DMAC を動作させることにより、請求項2に記載の画像処理装 置の動作を実現することができる。

【0103】さらに、請求項11に記載した発明のコン ピュータプログラムによれば、その内容に基づいてCP Uを動作させることにより、請求項3に記載の画像処理 装置の動作を実現することができる。

【0104】また、請求項12に記載した発明のコンピ ュータプログラムによれば、その内容に基づいてCPU を動作させることにより、請求項4に記載の画像処理装 置の動作を実現することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る画像処理装置の一実施形態とし て、ファクシミリ装置を示すブロック図である。

【図2】ファクシミリ装置の外観を示す外観図である。

【図3】RAMのアドレス空間を説明するための説明図 10 である。

【図4】イメージデータの回転や拡大/縮小に伴うデー タ処理を説明するための説明図である。

【図 5】 一例としてイメージデータを回転させる場合を 説明するための説明図である。

【図 6】 一例としてイメージデータを回転させる場合を 説明するための説明図である。

【図7】一例としてイメージデータを回転させる場合を 説明するための説明図である。

【図8】 一例としてイメージデータを縮小させる場合を

【図9】 一例としてイメージデータを縮小させる場合を 説明するための説明図である。

【図10】一例としてイメージデータを縮小させる場合 を説明するための説明図である。

【図11】表示走査領域に関する限界条件を説明するた めの説明図である。

【図12】回転表示処理の動作手順を示すフローチャー トである。

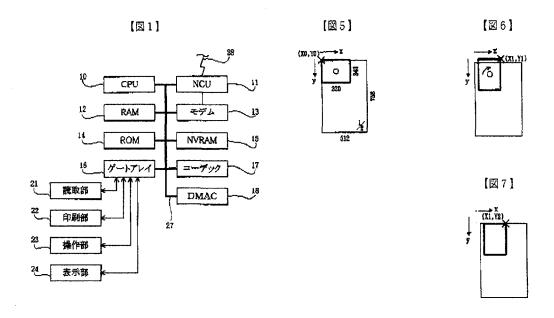
【図13】拡大/縮小表示処理の動作手順を示すフロー 30 チャートである。

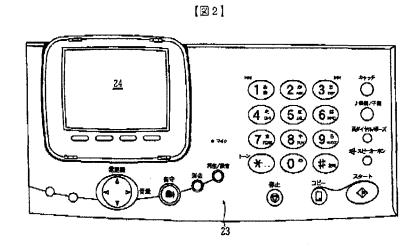
#### 【符号の説明】

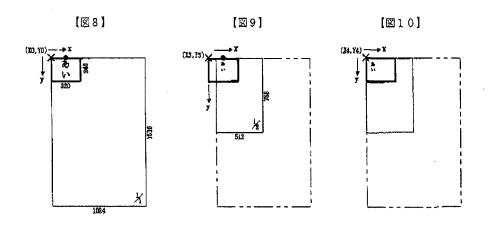
- 10 CPU
- 11 NCU
- 12 RAM
- 13 モデム
- 14 ROM
- 15 NVRAM
- 16 ゲートアレイ
- 17 コーデック
- 21 読取部
- 22 印刷部
- 23 操作部 2 4 表示部
- 28 公衆電話回線

(12)

特開2002-258831

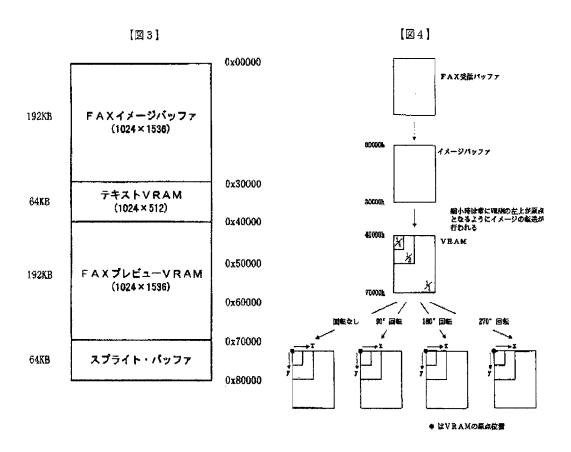






(13)

特開2002-258831



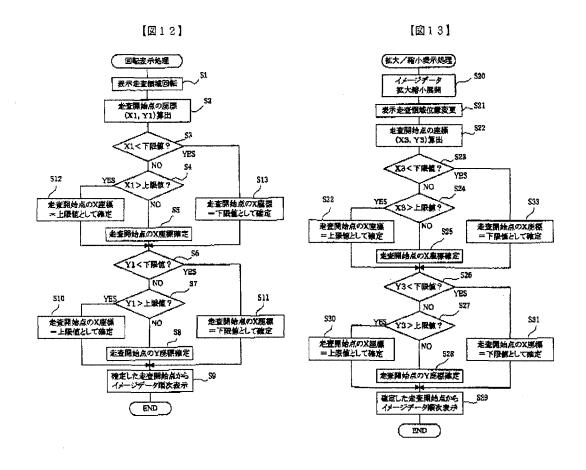
[図11]

回転 サイズ	0度,180度	90度,270度
1 4 (258×984)	X = 0 0 ≤ Y ≤ 1 4 4	0≤X≤16 0≤Y≤64
1 2 (512×768)	0 ≤ X ≤ 1 9 2 0 ≤ Y ≤ 5 2 B	0≤X≤272 0≤Y≤448
1 1 (1024×1536)	0≤X≤704 0≤Y≤1296	D ≦X ≦784 D ≦Y ≦1216

(X, Y); 表示走査領域 (#20×240) の左上走査拠始点のアドレス座標

(14)

特開2002~258831



#### フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

織別記号

FΙ

テーマコート (参考)

G09G 5/34

H 0 4 N 1/387

G09G 5/00

5/36

5 2 0 V 520E

Fターム(参考) 5B057 CA12 CA16 CB12 CB16 CC01

CD03 CH11

5C076 AA03 AA21 AA22 AA24 BA03

BA04 CA02 CB01

5C082 AA31 BA12 BA27 CA32 CA42

CA54 CA72 CA81 CA84 DA87

MMIO